

小学校第5学年 国語

分類・区別別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	56.8	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	2	46.6
		書くこと	5	46.8
		読むこと	2	53.0
評価の観点	知識・技能	11	56.8	
	思考・判断・表現	9	48.1	
問題形式	選択式	11	55.8	
	短答式	6	55.7	
	記述式	3	36.7	

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式			
1 一 ①	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	3	○		○			○			84.0	
1 一 ②	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	3	○		○			○			6.2	
1 一 ③	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	4	○		○			○			56.8	
1 一 ④	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	4	○		○			○			82.8	
1 二 ⑤	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	2	○		○			○			68.3	
1 三 ⑥	文の中における主語、述語を捉える	2	○		○			○			64.9	
1 四 ⑦	ローマ字を正しく書く	3	○		○			○			46.0	
1 五 ⑧	慣用語の意味を理解する	4	○		○			○			52.7	
2 一 ⑨	目的や意図を明確にして書く	5	○		○			○			55.1	
2 二 ⑩	目的や意図に応じて、詳しく書く	5		○		○			○		50.5	
2 三 ⑪	資料を用いて、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する	5		○		○	○				63.2	
2 四 ⑫	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章に生かす	5		○		○	○				60.8	
3 一 ⑬	目的や意図に応じて資料を用いる	5		○		○	○				66.9	
3 二 ⑭	情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫する	5		○		○	○				26.4	
3 三 ⑮	目的に応じた話し方を理解する	4	○		○			○			58.7	
3 四 ⑯	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5		○		○			○		35.3	
4 一 ⑰	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	5			○		○	○			42.8	
4 二 ⑱	事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	5			○		○	○			63.1	
4 三 ⑲	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	5		○		○			○		24.2	
4 四 ⑳	学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりする	3	○		○			○			49.1	

小学校第5学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	10	45.7
	図形	4	26.3
	変化と関係	3	49.8
	データの活用	3	33.2
評価の観点	知識・技能	14	47.0
	思考・判断・表現	6	25.5
問題形式	選択式	6	46.2
	短答式	11	45.1
	記述式	3	12.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1	(1) ① 整数と小数の減法の計算をすることができる	4	○				○			○			58.1
	(2) ② 小数の除法の計算をすることができる	5	○				○			○			35.3
	(3) ③ 乗法と減法の混合した整数の計算をすることができる	4	○				○			○			82.4
2	(1) ④ 数を四捨五入して概数で表すことができる	4	○				○		○				73.8
	(2) ⑤ 数量を□や△などを用いて表し、その関係を式にすることができる	4	○				○		○				35.8
3	(1) ⑥ 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を整理し、数直線に表すことができる	5	○				○			○			43.4
	(2) ⑦ 除法の性質を用いて示された式の意味を理解している	5	○					○	○				40.1
4	(1) ⑧ 複合図形の面積を求めることができる	4		○			○			○			13.9
	(2) ⑨ 面積と長さの関係を理解し、たてと横の長さを求めることができる	4		○				○			○		8.6
5	⑩ 分度器を用いて角の大きさを測定することができる	4		○			○			○			46.5
6	⑪ 比較量と割合を基にして基準量を求めることができる	5	○				○			○			49.7
7	(1) ⑫ 示された場面において、比較量が基準量の何倍かを求めることができる	4			○		○			○			75.9
	(2) ⑬ 数量の関係どうしを割合で比べ、【Bパターン】の方がお得であると判断した理由を説明することができる	4			○			○			○		23.1
8	⑭ 面のつながりや位置関係に着目して、立方体の展開図の位置関係を考えることができる	4		○				○	○				36.4
9	⑮ 示された複数の場面から、必要な数値を求めることができる	4			○		○			○			50.4
10	⑯ 乗法の場面を、□を使った式に表すことができる	3	○				○			○			32.6
11	⑰ 2つの折れ線グラフを比較し、正しい情報を読み取ることができる	4				○		○	○				39.0
12	(1) ⑱ 表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	4				○	○		○				52.3
	(2) ⑲ 情報を二次元の表を使って整理し、必要な数値を求めることができる	4				○	○			○			8.2
13	⑳ 除法を用いて色紙の中に30個の正方形をかくことができない理由を、言葉や式を用いて説明することができる	3	○					○			○		5.8

小学校第5学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	エネルギー	5	45.5
	粒子	6	66.9
	生命	5	58.5
	地球	4	61.8
評価の観点	知識・技能	10	65.5
	思考・判断・表現	10	54.2
問題形式	選択式	15	61.1
	短答式	3	64.4
	記述式	2	44.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)
			エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1) ① 音の大きさもものの震え方との関係について理解している	3	○				○	○				
	(2) ② 音の伝わり方について理解している	3	○				○	○				
2	(1) ③ 豆電球に明かりがつかない場合のスイッチの様子を予想することができる	3	○				○	○				60.4
	(2) ④ 金属という用語を理解している	3	○				○		○			46.4
	(3) ⑤ 豆電球に明かりがつかない原因として考えられることを指摘することができる	3	○				○	○				29.8
3	(1) ⑥ 太陽の位置の変化や影のでき方について学んだことを他の場面に適用することができる	3				○	○	○				42.4
	(2) ⑦ 棒温度計の適切な使い方を理解している	3				○	○	○				60.0
4	(1) ⑧ 空気の温まり方について、予想と図を関係付けて考えることができる	4		○				○	○			62.7
	(2) ⑨ 空気の温まり方について、実験結果をもとに、予想と結果の一致・不一致を判断することができる	4		○				○	○			77.5
	(3) ⑩ 空気の温まり方について理解している	4		○				○		○		55.2
5	(1) ⑪ 空気は圧すと体積が小さくなるという空気の性質について理解している	4		○			○			○		81.8
	(2) ⑫ 水は圧しても体積は変わらないという水の性質について理解している	4		○			○		○			68.6
	(3) ⑬ 身の回りにある空気の性質を利用したものを見出すことができる	4		○			○		○			55.7
6	(1) ⑭ 水の流れと地面の傾きの関係を理解している	4				○	○	○				87.7
	(2) ⑮ 水のしみこみ方と土のつぶの大きさを関係付けて理解している	4				○		○	○			57.1
7	(1) ⑯ 目的に応じて実験の条件を設定することができる	5			○		○		○			60.8
	(2) ⑰ 植物がよく成長するための条件について学んだことを、他の場面に適用し、説明することができる	5			○			○		○		34.7
8	(1) ⑱ メダカのおすとめすの見分け方を理解している	5			○		○		○			63.5
	(2) ⑲ 顕微鏡の正しい操作方法を理解している	5			○		○			○		65.2
	(3) ⑳ メダカの卵の成長と、インゲンマメの成長との共通点・差異点について、見出すことができる	5			○			○	○			68.3

小学校第6学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	11	67.7	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	2	65.7
		書くこと	5	42.7
		読むこと	2	46.5
評価の観点	知識・技能	11	67.7	
	思考・判断・表現	9	48.6	
問題形式	選択式	9	66.0	
	短答式	8	61.1	
	記述式	3	33.3	

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等 話すこと・聞くこと	書くこと 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	4	○			○			○		30.2
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	5	○			○			○		52.7
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	5	○			○			○		97.8
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	5	○			○			○		94.0
1	⑤ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	4	○			○		○			86.8
1	⑥ 文の中における主語、述語を捉える	2	○			○		○			76.0
1	⑦ ローマ字を正しく書く	3	○			○			○		59.9
1	⑧ 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く	4	○			○			○		66.0
2	⑨ 目的や意図を明確にして書く	5	○			○		○			64.0
2	⑩ 資料を用いて、自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫する	5			○		○	○			55.5
2	⑪ 目的や意図に応じて、詳しく書く	5			○		○			○	46.0
2	⑫ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章に生かす	5			○		○	○			58.0
3	⑬ 目的や意図に応じて資料を用いる	5		○			○	○			69.8
3	⑭ 情報を相手に分かりやすく伝えるための発表の仕方を工夫する	6		○			○	○			61.6
3	⑮ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて話す	3	○			○			○		46.9
3	⑯ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5			○		○			○	33.6
4	⑰ 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉える	5				○		○	○		41.5
4	⑱ 事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する	6				○		○	○		51.4
4	⑲ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる	5			○		○			○	20.3
4	⑳ 学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べる	4	○			○		○			71.1

小学校第6学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	9	57.5
	図形	5	47.3
	変化と関係	4	27.5
	データの活用	2	60.0
評価の観点	知識・技能	10	52.1
	思考・判断・表現	10	46.3
問題形式	選択式	4	46.7
	短答式	13	50.8
	記述式	3	45.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1) ① 異分母の分数の減法の計算をすることができる	5	○				○			○		74.2
	(2) ② 小数の除法の計算をすることができる	5	○				○			○		35.5
	(3) ③ 分数、整数、小数の除法、乗法の計算をすることができる	6	○				○			○		66.6
2	(1) ④ 小数を $\frac{1}{100}$ にした大きさを求めることができる	5	○				○			○		67.3
	(2) ⑤ 計算のきまりを使って、工夫して計算することができる	4	○				○			○		46.6
	(3) ⑥ ひし形の性質を用いて角度を求めることができる	4		○			○			○		52.8
	(4) ⑦ 場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することができる	4	○				○			○		75.8
3	⑧ 単位量あたりの大きさを求める除法の式をよみ、商の表す意味を考察することができる	5			○		○		○			30.3
4	⑨ 円に内接する正方形の対角線が円の直径と等しくなる性質に着目して求積できる	5		○			○			○		28.9
5	(1) ⑩ 1にあたる大きさを求める問題場面における数量関係を理解し、数直線に表すことができる	6	○				○		○			64.9
	(2) ⑪ 図をもとに、分数の除法を正しく立式することができる	6	○				○			○		40.8
6	(1) ⑫ 時速を分速に置き換えることができる	5			○		○			○		42.9
	(2) ⑬ 速さを求めることができる	5			○		○			○		24.3
7	(1) ⑭ 直方体の体積を求めることができる	5		○			○			○		74.5
	(2) ⑮ cmとLの関係を理解し、変換することができる	5		○			○			○		30.2
8	⑯ 除法の性質を理解し、それを用いた分数の計算方法について、説明することができる	6	○				○			○		45.6
9	(1) ⑰ グラフの意味を理解し、そこから分かることを読み取ることができる	3・5			○		○			○		78.7
	(2) ⑱ それぞれのグラフが表す事柄を読み取ることができる	3・5			○		○		○			41.3
10	⑲ 三角形の面積について理解し、同じ面積になる形を見つけることができる	5		○			○		○			50.2
11	⑳ 基準量の違いによって、同じ割合でも表す大きさが異なることに気づくことができる	5			○		○			○		12.6

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	13	61.1	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	4	63.0
		書くこと	2	47.0
		読むこと	6	58.6
評価の観点	知識・技能	13	61.1	
	思考・判断・表現	12	58.1	
問題形式	選択式	9	69.6	
	短答式	13	54.9	
	記述式	3	50.8	

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	
1 一	① 文脈に即して、描写の内容を理解する	1				○	○		○		86.1
1 二	② 文脈に即して、表現技法の効果を理解する	1				○	○	○			70.5
1 三	③ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する	1				○	○		○		45.2
1 四	④ 文章中から必要なことを引用し、自分の考えを簡潔に書く	1			○		○			○	64.1
2 一	⑤ 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1	○				○		○		41.9
2 二	⑥ 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1				○	○		○		32.1
2 三	⑦ 文章の書かれ方を捉え、その特徴をつかむ	1				○	○	○			77.1
2 四	⑧ 目的に応じて、根拠を明確にして書く	1			○		○			○	29.8
3 一 (1)	⑨ 文脈に即して正しく漢字を書く(預ける)	小6	○				○			○	42.0
3 一 (2)	⑩ 文脈に即して正しく漢字を書く(貸す)	小5	○				○			○	55.8
3 一 (3)	⑪ 文脈に即して正しく漢字を書く(専用)	小6	○				○			○	54.8
3 一 (4)	⑫ 文脈に即して正しく漢字を読む(関心)	小4	○				○			○	42.9
3 一 (5)	⑬ 文脈に即して正しく漢字を読む(のぞむ)	小6	○				○			○	57.0
3 一 (6)	⑭ 文脈に即して正しく漢字を読む(しゅうえき)	小6	○				○			○	83.1
3 二	⑮ 時と場に応じて、適切な敬語を使う(尊敬語 おっしゃる)	小56	○				○		○		84.0
3 三	⑯ 文の中における被修飾語を捉える	小34	○				○		○		25.7
3 四 A	⑰ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(慣用句 虫の知らせ)	小56	○				○		○		72.0
3 四 B	⑱ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(ことわざ あぶりはち取らず)	小34	○				○		○		83.5
4 一	⑲ 文脈に即して、俳句に使われている特徴的な表現を捉える(のたり)	1				○	○		○		40.6
4 二	⑳ 俳句の季語から季節を理解し、適切なものを選択する	小56	○				○		○		77.4
5 一	㉑ 司会の果たす役割や進め方を理解する	小34		○				○	○		65.5
5 二	㉒ 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	1		○				○		○	57.4
5 三	㉓ 主述の関係に気を付け、正しい表現に直す	小34	○				○			○	74.2
5 四	㉔ 内容を的確に捉え、資料として適切なものを選ぶ	小56		○				○	○		70.6
5 五	㉕ 理由を明確にして自分の考えをもち、話し合いをする	1		○				○		○	58.4

中学校第1学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と計算	18	57.3
	図形	2	38.9
	変化と関係	2	32.4
	データの活用	3	62.5
評価の観点	知識・技能	23	56.7
	思考・判断・表現	2	28.5
問題形式	選択式	5	60.0
	短答式	17	57.0
	記述式	3	30.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1	(1) ① 分数の乗法の計算ができる	小6	○				○			○		86.1
	(2) ② 計算のまわりにしたがって計算することができる	小4	○				○			○		64.8
	(3) ③ 指数を含む式の計算をすることができる	1	○				○			○		39.8
	(4) ④ 絶対値の意味を理解している	1	○				○			○		49.3
	(5) ⑤ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	1	○				○			○		50.7
	(6) ⑥ 数の集合と四則計算の可能性について理解している	1	○				○		○			70.2
2	(1) ⑦ 整式の減法の計算ができる	1	○				○			○		49.2
	(2) ⑧ 条件にあう公倍数を求めることができる	小5	○				○			○		64.1
	(3) ⑨ 速さ、時間、道のりの関係から、時間を求めることができる	小5	○				○			○		63.1
3	(1) ⑩ 数量の関係を等式で表すことができる	1	○				○			○		76.7
	(2) ⑪ 基準量を基に比較量を求めることができる	1	○				○			○		44.6
	(3) ⑫ 不等式の関係を、具体的な事象に関連付けて解釈することができる	1	○				○		○			65.4
4	⑬ 単位量の考え方をを用いて数量の関係を考えることができる	小5	○				○		○			46.8
5	(1) ⑭ 四角形を対角線で三角形に分けての面積を求めることができる	小5		○			○			○		36.2
	(2) ⑮ 展開図から平面の位置関係を判断することができる	小4		○			○		○			41.6
6	(1) ⑯ グラフから数量の関係を読み取ることができる	小6			○		○			○		43.1
	(2) ⑰ 表やグラフから数量の関係を求める方法を説明することができる	小6			○			○			○	21.7
7	(1) ⑱ 平均を求めるために用いる値を文脈から読み取ることができる	1	○				○			○		63.0
	(2) ⑲ 平均を求める方法を式で表現することができる	1	○				○				○	34.8
8	(1) ⑳ 組み合わせをもれなく求めることができる	小6				○	○			○		66.1
	(2) ㉑ グラフから割合を読み取り、必要な数量を求めることができる	小5				○	○			○		45.5
	(3) ㉒ グラフから資料の特徴を読み取ることができる	小6				○	○		○			75.9
9	(1) ㉓ 問題場面における数量の関係を捉えることができる	1	○				○			○		77.6
	(2) ㉔ 事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明することができる	1	○					○			○	35.2
	(3) ㉕ 事柄について、文字式を用いて表すことができる	1	○				○			○		49.5

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)	
学習指導要領の内容	知識及び技能	15	69.0	
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	2	49.8
		書くこと	3	43.3
		読むこと	5	54.6
評価の観点	知識・技能	15	69.0	
	思考・判断・表現	10	50.3	
問題形式	選択式	10	70.8	
	短答式	11	60.4	
	記述式	4	41.4	

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
			知識及び技能	思考力・判断力・表現力等 話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	
1	① 抽象的な語句の表す内容を理解すること	1	○				○		○		85.3
1	② 文の中における被修飾語を捉える	小34	○				○		○		74.3
1	③ 文脈に即して、表現の意図や効果について理解する	2				○		○		○	32.8
1	④ 文章の内容をふまえて適切な表現について判断し、簡潔に理由を書く	1			○			○		○	59.6
2	⑤ 内容を正確に捉えて、適切な接続語を選ぶ	小34	○				○		○		84.7
2	⑥ 内容を的確に捉え、必要な情報を取り出す	2				○		○		○	48.6
2	⑦ 文章の書かれ方に着目して、内容の中心となる事柄を捉える	2				○		○	○		83.8
2	⑧ 下書きの構成の工夫について考える	2			○			○		○	27.9
3	⑨ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す（やしなひて）	1	○				○			○	61.0
3	⑩ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直す（いはく）	1	○				○			○	87.6
3	(1) ⑪ 会話文を参考に、作品の文脈を読み取る	2				○		○		○	35.6
3	(2) ⑫ 会話文を参考に、作品の文脈を読み取る	2				○		○		○	72.5
3	(3) ⑬ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（故事成語 朝三暮四）	小34	○				○		○		83.9
4	(1) ⑭ 文脈に即して漢字を正しく書く（営む）	小5	○				○			○	78.2
4	(2) ⑮ 文脈に即して漢字を正しく書く（歓迎）	1	○				○			○	30.5
4	(3) ⑯ 文脈に即して漢字を正しく読む（うながす）	1	○				○			○	45.3
4	(4) ⑰ 文脈に即して漢字を正しく読む（けはい）	小3	○				○			○	95.6
4	⑱ 行書の特徴を理解する（草）	2	○				○		○		34.8
4	⑲ 文の中における主語を捉える	小34	○				○		○		69.5
4	⑳ 文節相互の関係について理解している	2	○				○		○		67.1
5	㉑ 相手を意識して、適切な敬語表現を用いる	2	○				○			○	63.7
5	㉒ 知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問する	2		○				○	○		51.0
5	㉓ 内容を正確に捉えて、該当するものを選ぶ	2	○				○		○		73.1
5	㉔ 知りたいことを明らかにし、話の流れの中で質問する	1		○				○		○	48.5
5	㉕ 条件に照らして、目的や相手を意識した表現をする	2			○			○		○	42.5



中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	数と式	12	67.4
	図形	6	49.4
	変化と関係	4	79.4
	データの活用	3	39.5
評価の観点	知識・技能	19	66.7
	思考・判断・表現	6	45.8
問題形式	選択式	7	62.1
	短答式	15	67.1
	記述式	3	33.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式		
1	(1) ① 分数の乗法の計算ができる	1	○				○			○			78.7
	(2) ② 計算のきまりにしたがって計算することができる	1	○				○			○			92.9
	(3) ③ 指数を含む式の計算ができる	1	○				○			○			77.6
	(4) ④ 数の集合と四則計算の可能性について理解している	1	○				○		○				66.8
2	(1) ⑤ 多項式どうしの減法の計算ができる	2	○				○			○			74.8
	(2) ⑥ 一次方程式を解くことができる	1	○				○			○			76.6
	(3) ⑦ 文字を用いて数量を表すことができる	2	○				○			○			48.0
	(4) ⑧ 等式を目的に応じて変形することができる	2	○				○			○			70.2
	(5) ⑨ 文字式が表している意味を読み取ることができる	2	○				○		○				57.7
3	(1) ⑩ 比例の表の特徴を理解している	1			○		○			○			75.5
	(2) ⑪ 反比例のグラフの特徴を理解している	1			○		○		○				76.9
4	(1) ⑫ 連立方程式を解くことができる	2	○				○			○			66.7
	(2) ⑬ 連立方程式の解の意味を理解し、解を代入して連立方程式が成り立っていることを説明することができる	2	○					○			○		42.3
5	⑭ 垂線の性質を理解している	1		○			○		○				54.5
6	(1) ⑮ おうぎ形の面積を求めることができる	1		○			○			○			43.6
	(2) ⑯ 円柱の表面積を求めることができる	1		○			○			○			30.5
	(3) ⑰ 対称移動をした図をかくことができる	1		○			○			○			76.2
7	(1) ⑱ 直方体の体積を求めることができる	小6 1		○			○			○			78.0
	(2) ⑲ 高さの求め方について投影図を使って説明することができる	1		○				○			○		13.8
8	(1) ⑳ 座標を理解している	1			○		○		○				84.9
	(2) ㉑ 比例とみなして、結論を得ることができる	1			○			○		○			80.4
9	(1) ㉒ 相対度数を求めることができる	1				○	○			○			36.8
	(2) ㉓ 判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	小6 1				○		○			○		44.4
	(3) ㉔ 目的に応じて代表値を選択することができる	小6 1				○		○	○				37.3
10	㉕ 文字を適切に設定することができる	2	○					○	○				56.7

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	エネルギー	6	34.7
	粒子	8	32.1
	生命	7	48.1
	地球	4	40.0
評価の観点	知識・技能	13	42.0
	思考・判断・表現	12	34.6
問題形式	選択式	6	40.9
	短答式	10	42.2
	記述式	9	32.7

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する学年	学習指導要領の内容				評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
			エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	物質がもとの形に戻ろうとする性質を弾性ということを理解している	1	○				○			○		20.6
1 (2) ②	表をもとに、比例のグラフをかくことができる	1	○				○				○	53.6
1 (3) ③	比例の関係を用いて、物体に働く力の大きさとその物体の重さを導くことができる	1	○					○	○			41.4
2 (1) ④	れきが流れる水のはたらきで丸みを帯びる理由を説明できる	1				○	○				○	49.6
2 (2) ⑤	2か所の露頭の観察結果を空間的にとらえ、地層の傾きを読み取ることができる	1				○		○	○			31.4
2 (3) ⑥	地層の広がりの手がかりとなる層をかぎ層ということを理解している	1				○	○			○		20.5
2 (4) ⑦	地層の堆積と断層の形成を時間的なつながりであらえ、過去の出来事を推定することができる	1				○		○	○			58.4
3 (1) ⑧	質量保存の法則の実験を計画することができる	2		○				○			○	55.5
3 (2) ① ⑨	化学反応前、化学反応後の原子の数を考えることができる	2		○				○			○	29.6
3 (2) ② ⑩	化学変化の前後で質量が変化しない理由を原子の数から説明ができる	2		○				○			○	26.1
3 (3) ⑪	木炭の燃焼において、質量の変化について考えることができる	2		○				○	○			53.9
3 (4) ⑫	銅の酸化において、質量の変化について考えることができる	2		○				○	○			31.9
4 (1) ⑬	溶解度の違いから結晶化する物質を考えることができる	1		○			○		○			28.2
4 (2) ⑭	2種類のハチミツの結晶化の有無から、多く含まれている糖類を考えることができる	1		○				○			○	12.7
4 (3) ⑮	温度を上げると結晶化していない状態に戻るをことを説明できる	1		○				○			○	18.8
5 (1) ⑯	生物の中から植物を分類することができる	1			○		○			○		73.1
5 (2) ⑰	動物の体のつくりの共通点や相違点を理解している	1			○		○			○		57.2
5 (3) ⑱	動物の体のつくりの共通点や相違点に基づいて分類できる	1			○		○			○		43.5
6 (1) ⑲	基本的な光の性質を理解している	1	○				○			○		31.0
6 (2) ⑳	身近な物理現象について理解している	1	○				○			○		54.6
6 (3) ㉑	身近な物理現象を、日常生活と関連付けて考えることができる	1	○				○				○	7.1
7 (1) ㉒	消化液に含まれ、決まった物質を分解するものの名称を理解している	2			○		○			○		58.9
7 (2) ㉓	デンプン・糖の有無を確かめる各指示薬の反応のようすや、その名称を理解している	2			○		○			○		33.2
7 (3) ㉔	対照実験を行う理由を理解している	2			○		○				○	36.7
7 (4) ㉕	実験結果で示された、複数の指示薬の変化から見取ることができる事象を、総合的に分析して解釈し、デンプンに対する胃腸薬の働きについて説明することができる	2			○		○				○	33.9

中学校第2学年 英語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の内容	聞く	10	69.7
	読む	11	55.5
	書く	4	38.6
評価の観点	知識・技能	15	59.8
	思考・判断・表現	10	56.6
問題形式	選択式	17	63.4
	短答式	2	65.3
	記述式	6	42.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する 学年	学習指導要領の内容			評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
			聞く	読む	書く	知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	1	○			○		○			95.9
1 (2) ②	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	2	○			○		○			74.9
1 (3) ③	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	1	○			○		○			71.3
2 (1) ④	日常的な話題について、適切に応じることができる	1	○			○		○			78.3
2 (2) ⑤	日常的な話題について、適切に応じることができる	1	○			○		○			47.7
2 (3) ⑥	日常的な話題について、適切に応じることができる	2	○			○		○			52.2
2 (4) ⑦	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる	1	○			○		○			42.9
3 (1) ⑧	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を聞き取ることができる	1	○			○		○			92.5
3 (2) ⑨	まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ることができる	2	○			○		○			74.6
3 (3) ⑩	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	1	○			○			○		66.7
4 (1) ⑪	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる	2		○		○		○			72.3
4 (2) ⑫	基本的な語や文法事項を理解して、会話の中で適切に使うことができる	2		○		○		○			51.5
5 (1) ⑬	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	1			○	○				○	49.3
5 (2) ⑭	文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くことができる	1			○	○				○	27.4
6 (1) ⑮	グラフに示された内容に関する英文を読んで、正確に読み取ることができる	2		○		○		○			69.5
6 (2) ⑯	英語のレポートを読んで、グラフに示された内容から必要な情報を読み取り、英語で書くことができる	2		○		○			○		63.0
6 (3) ⑰	英語のレポートを読んで、概要を理解することができる	2		○		○		○			34.5
7 (1) ⑱	まとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じることができる	2		○		○		○			53.2
7 (2) ⑲	まとまりのある英語を読んで、必要な情報を読み取ることができる	2		○		○		○			67.7
7 (3) ⑳	書かれた内容に対して、質問をするために、話の内容を捉えることができる	2		○		○				○	32.0
8 (1) ㉑	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を理解することができる	2		○		○		○			64.5
8 (2) ㉒	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、情報を正確に読み取ることができる	2		○		○		○			59.6
8 (3) ㉓	社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、必要な情報を理解することができる	2		○		○		○			42.5
9 (1) ㉔	日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じることができる(適切さ)	2		○		○			○		51.2
9 (2) ㉕	日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じることができる(正確さ)	2		○		○			○		26.4